

クサガメ

体から独特の臭いを出し、これが「臭亀」の由来です。甲長（こうちょう）はオスで18 cm、メスで25 cmほどまで成長します。甲羅（こうら）の色は茶褐色で、キール（線状の盛り上がり）が3本あります。頭部には、黄色のまだら模様があります。

平地の池や田んぼ、河川に生息しています。雑食性で、魚類や甲殻類、藻類などを食べます。

6月～8月頃になると、メスは水辺から離れた地面を掘り、10個前後の卵を何回かに分けて産卵します。卵は2ヶ月ほどで孵化（ふか）し、そのまま地中で越冬し、翌年の春先に地表に出てきます。

本種は、江戸時代中期以前の記録が無いことから、それ以降に中国などから輸入された外来種の可能性もあります。在来種のイシガメとの交雑も確認されているため、遺伝子汚染（いでんしおせん）も心配されます。



富士市での現状

入山瀬の小河川で確認できました。

旧富士市域では1971年まで確認されていませんでしたが、1985年以降和田川や須津川、赤淵川で始めて確認されました。

クサガメを確認したメッシュ

